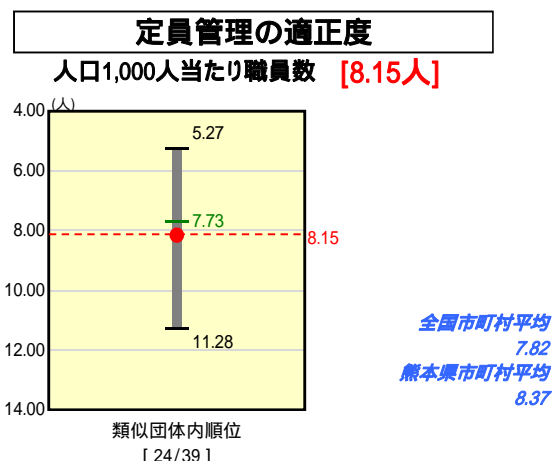
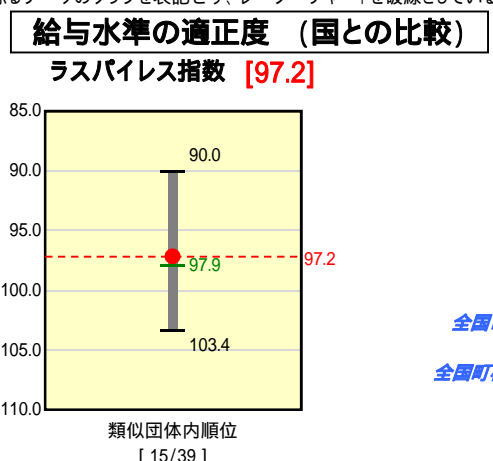
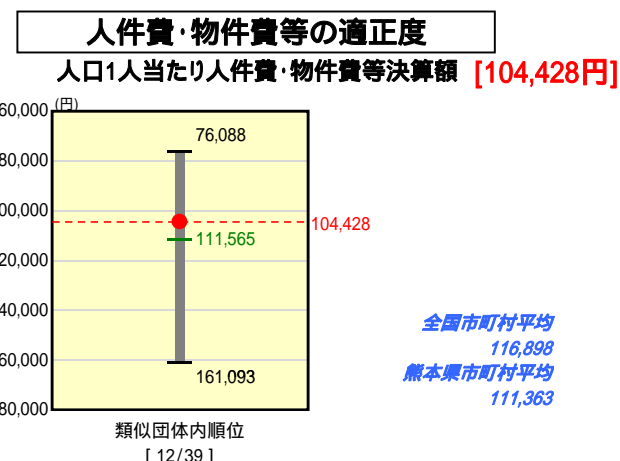
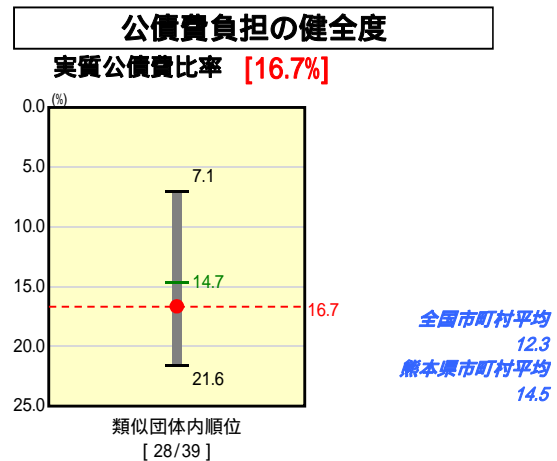
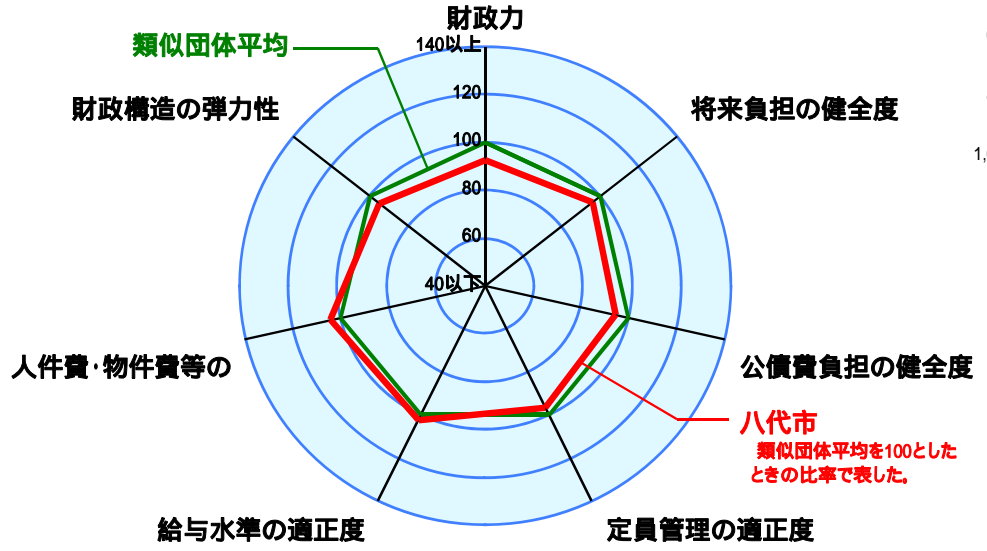
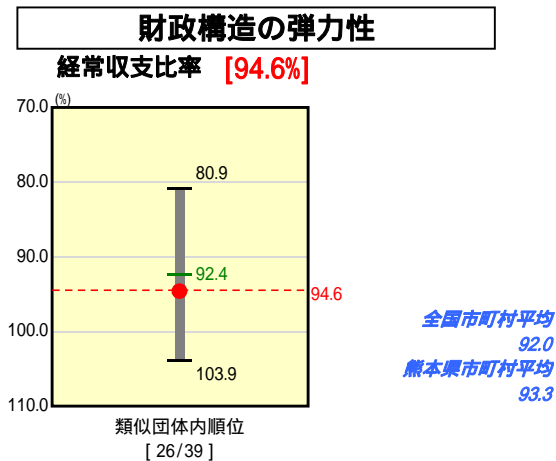
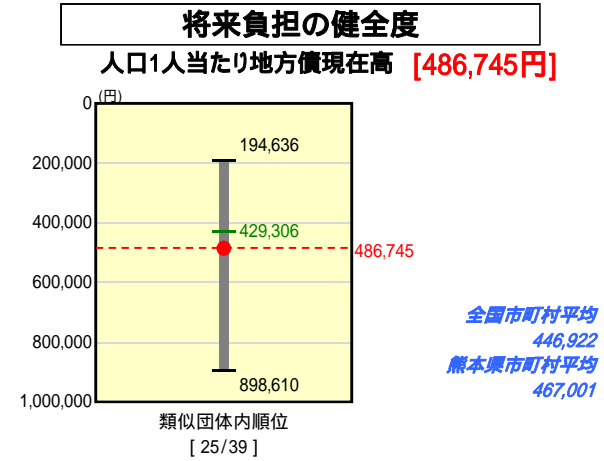
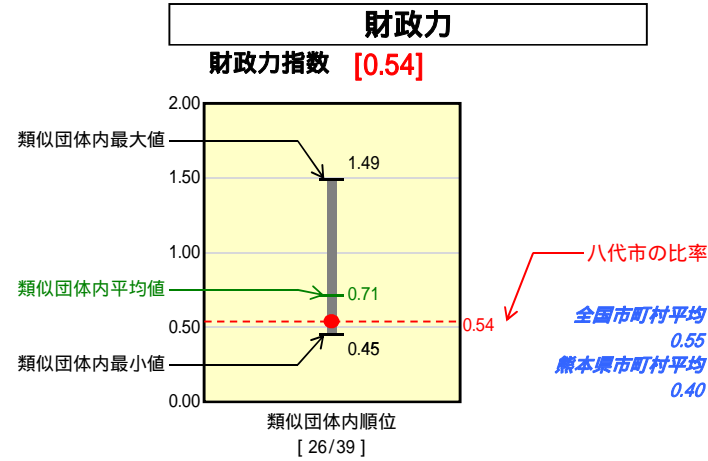


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 熊本県 八代市

人口	136,304 人(H20.3.31現在)
面積	680.59 km <sup>2</sup>
歳入総額	53,776,377 千円
歳出総額	52,753,269 千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

【財政力指数】  
市町村合併後は担税力が小さい過疎地域を市域に含むことから、県内市町村平均0.40は上回っているものの、類似団体平均0.71を大きく下回っています。指数自体は上昇傾向にありますが、依然として、類似団体平均とは大きな差があることから、今後も財政基盤の強化を図ります。

【経常収支比率】  
繰出金の増により前年に比して上昇しており、類似団体平均92.4%、県内市町村平均93.3%をやや上回っています。今後、固定資産税率の改定や職員数の減(H17年度からの5年間で150人減)による人件費削減などで、経常収支比率は改善されると予想されますが、交付税等の増加も期待できないことから、徴収業務の強化等により収支確保に努め、経常一般財源の増を図り、経常経費の削減も図ります。

【ラスパイレス指数】  
ほぼ類似団体平均(97.9)の水準にありますが、引き続き、職員手当等の見直しを図ります。

【実質公債費比率】  
類似団体平均14.7%、県内市町村平均14.5%をやや上回っています。今後、建設事業債発行額を公債費償還元金の範囲内に抑えることで公債費の抑制を図りますとともに、公債費に充当する特別会計への繰出金の抑制を図ります。【人口一人当たりの地方債現在高】  
臨時財政対策債等の財源補てん目的の起債発行等により、類似団体平均をやや上回っています。今後、事業の緊急性を勘案し、公債費償還元金の範囲内での新規発行債を行うことで抑制を図ります。

【人口1,000人当たり職員数】  
類似団体平均をやや上回っており、引き続き、職員数の削減(H17年度からの5年間で150人減)に努めます。

【人口一人当たり人件費・物件費等決算額】  
類似団体平均をやや下回っています。人件費、物件費及び維持補修費については、今後も更なる見直しを進め、削減に努めます。